

## 平成24年度食の安全安心セミナーに関するアンケート集計結果

セミナー参加者：121名 アンケート回答者：58名 回答率：47.9%

### 1 ご参加いただいた感想はいかがでしたか。

ア とても参考になった	12名 (20.6%)
イ 参考になった	38名 (65.5%)
ウ どちらともいえない	7名 (12.0%)
エ あまり参考にならなかった	0名 (0.0%)
オ 参考にならなかった	1名 (1.7%)

#### 「ウ どちらともいえない」の理由

- ・特に新しい話はなかった。
- ・流通経路における不正はないか心配。
- ・説明がちょっと早すぎるのでは。
- ・後半30分しか参加できなかったため。
- ・一方的な理論で安心を促す行動（PRなど）が欠けている。「分かる人には分かる内容」では不十分だと思う。
- ・安全であるという情報であったが、まだ素直に受け止められません。政府、研究者の意見の違いはどちらを信用すればいいのかわかりません。説得力のある情報がほしいです。

#### 「オ 参考にならなかった」の理由

- ・新聞報道と違う。

### 2 どのような点が「参考になった」と感じられましたか。（複数回答可）

ア 講演の内容がよかった	16名 (27.5%)
イ 新たな知識が得られた	32名 (55.1%)
ウ 放射性物質に対する不安が解消された	6名 (10.3%)
エ 意見交換によりさらに知識が深められた	15名 (25.8%)
オ その他	7名 (12.0%)

※複数回答者がいるため、回答者数と合計数は一致しません。

#### 「オ その他」の理由

- ・冊子が良かった。
- ・詳しい内容を話していたのが良かった。
- ・分かりやすい資料。特に「食品と放射能Q&A」。
- ・基準値が500Bq/kgから100Bq/kgに下がった理由として、緊急時から平常時の対応

に変えた理由が分かった。

- ・今まで聞いた事のある知識を整理する事ができた。
- ・調べて食べる。
- ・ポイントをおさえた解説が良かった。

### 3 セミナーの開催内容（講演と意見交換）についてお聞きします。

ア このままでよい	16名（27.5%）
イ 講演にもっと時間をかけた方がよい	28名（48.2%）
ウ 意見交換にもっと時間をかけた方がよい	8名（13.7%）
エ 参加者（聴衆）の意見をもっと取り上げ、議論に参加させて欲しい	4名（6.8%）
オ その他	2名（3.4%）

「オ その他」の理由

- ・本日の内容はモニターに広報にして紹介する。
- ・会場の声にきちんと答えていただいて良かったが、このような機会、セミナー等を頻繁に開いてほしい。

### 4 来年度も開催される場合には、参加したいと思われませんか。

ア 参加したい	18名（31.0%）
イ テーマによっては参加したい	37名（63.7%）
ウ 参加したくない	1名（1.7%）
エ わからない	2名（3.4%）

「ア 参加したい」の理由

- ・知識を得たいから。
- ・新しいことが聞ける。
- ・専門家の話を聞きたい。新聞だけでは不足。新聞内容の根拠がほしい。消費者の意見は最も大切。行政の働きかけが大切と思う。
- ・複数回だと良いと思います。

「イ テーマによっては参加したい」の理由

- ・また新しい情報等知りたい。
- ・認識を深める良い機会となる。
- ・仕事に応用できる内容、興味のあるテーマであれば参加したいと思います。
- ・これまでの入門編から1段進んだ内容の学習ができれば良いと思う。
- ・違った内容であれば参加したい。
- ・正しい知識をつけることで理解が深まると思います。
- ・今回は興味のあるテーマだった。

「ウ 参加したくない」の理由

- ・難しく理解しがたい。

「エ わからない」

- ・その時の背景による。

#### 5 セミナーの開催テーマとして希望する内容、また、その他御意見等があればお書き願います。

- ・役所どおりの説明ではなく、例えば「新聞ではこういう事」書いてあるが、本役所の調査は〇〇だとの説明が必要。
- ・食材の安全について勉強でき、ありがとうございました。でも、時間がありませんでしたら、食材のできる畑等の土地汚染についても、もっと知りたかったです。
- ・畑単位で検査結果を表示することに問題（正しいと言えない値を表示すること）はないのか？と思いました。
- ・食品の安全をもっとPRすることを、メディアを通して広げてほしい。偏った報道にならない様注意が必要であるが、もっと安全をPRしていただきたい。
- ・事前に質問を受け付けしてもの良いのではないか。
- ・放射能のみでなく、食にかかわる多くのリスクをどのように減らすため、行政が果たしている役割を中心に知識を得る場としていただきたい。福島原発事故の放射能問題は、生産者、加工者、消費者みんなが被害者だが、他のリスクは生産者、加工者が努力すれば減らせるものだと思う。
- ・風評被害と科学と報道。日本人と統計。ゼロリスク症候群との付き合い方。
- ・講演はもっと分かりやすく時間をかけてもらいたい。
- ・意見交換の途中からしか参加できずに残念です。参加された方は熱心に意見交換でき良かったと思います。
- ・放射能にしても農薬にしても、その原因を取り除くことが最も重要で、一定程度以下にすることは可能。しかし、なかなか取り除けないのは風評被害で、それがなぜ起きるのか、どう対処すれば良いのかはよく分からない。風評被害対策についてのセミナーを開催しても良いのではないか。
- ・放射性物質に対しては、目に見えないものなので不安というのが多いです。これから何年も戦っていかなくてはならない問題です。一人一人が正しい知識を身に付けていくことが大事だと感じました。風評被害がすごく今感じています。宮城県に住んでいる者として、考えて行動すべきです。私は店頭で並んでいる食品（宮城）は購入する様にしています。今回分かりやすい説明でした。検査をし、安全性を県民に伝える努力が必要です。それが信頼につながると思っています。
- ・スポーツ栄養について、またはスポーツに関連した食の話題を提供していただきたいです。
- ・子供と食（食育）について、現在の子供の食生活等の問題を取り上げてほしいです。
- ・意見交換を聞いていると随分情報弱者が多いと思った。情報の出し方云々より、理解する、知ろうとする意欲が単にないだけだと思います。関心の無い？人に税金を使うより、検査機器やそれに関わる人件費等に税金を使った方がよいのでは。
- ・講演者の方々が参加者の質問に一つ一つ冷静かつ丁寧に答えていたところが良かった。「安心」が得られるような雰囲気の見聞交換会だったと思う。また、専門的な言葉も噛み砕いて下さったので、まあまあ理解しやすかった（今まで参加した研修と比べれば）。

- ・地域毎に開催してほしい。
- ・今後、いつになったら安心して安全な山の物や海の物を食べられるのか（検査せず）？
- ・消費者は多種多様。食については店頭で得る意見を交えた会話が一番安心できる。販売者にもっと教育できると解消できる部分が多いと思う。ソムリエ等も多いが、放射線については？と思っている。
- ・意見交換で十分な答えや消費者庁の方針が伝わってきた。もっと世の中に情報が伝わるように自ら何ができるか。一人一人の「プチ復興支援」であると思えた。意義深いセミナーでした。